

グローバル構成

1. 概要

- ・このグローバル構成のページにアクセスできるのは、「スーパー管理者」のメンバーがログインしている場合のみです。
- ・このページは、このウェブサイトの動作にグローバルに影響する変更を行うことができます。
- ・この中の各種設定は、Joomla のインストール時の configuration.php ファイルにあり、この値の多くは初期設定のままにしておくのが最適です。
- ・Joomla が config.ファイルを更新できない場合は、「データを保存できませんでした」となります。
- ・「パーミッション」のタブ項だけは、他と異なり、ウェブサイトの DB に保存されます。

2. 「サイト タブ」

2-1) サイト



The screenshot shows the Joomla! Global Configuration interface, specifically the 'Site' tab. The navigation menu at the top includes 'サイト', 'システム', 'サーバ', 'ロギング', 'テキストフィルタ', and 'パーミッション'. The 'Site' tab is active, displaying various configuration options:

- サイト名***: A text input field containing a blurred site name.
- メンテナンスモード**: A toggle switch set to 'いいえ' (No).
- フロントエンド編集**: A dropdown menu set to 'モジュール' (Modules).
- デフォルトのエディタ**: A dropdown menu set to 'エディタ - TinyMCE'.
- デフォルトCAPTCHA**: A dropdown menu set to '- 選択なし -'.
- デフォルトアクセスレベル**: A dropdown menu set to 'Public'.
- 管理画面内のアイテム一覧の数**: A dropdown menu set to '20'.
- フィードに出力するアイテム数**: A dropdown menu set to '10'.
- フィードに出力するEメール**: A dropdown menu set to '出力しない' (Do not output).
- FLoCをブロック**: A toggle switch set to 'はい' (Yes). Below it, a note reads: 'FLoCメソッドによる追跡をサポートしないヘッダーを送信します。' (Send headers that do not support tracking by the FLoC method.)

- ・ **サイト名**：このウェブサイトの名称（日本語で可）。
- ・ **メンテナンスモード**：「はい」をクリックすると、サイトを「オフライン」にするメッセージが出ます。

←カスタム文
(自作文が定義可)

←メンテナンス時
の画像

メンテモードのとき、管理者以上だけがログインできます。保守時等に使う。

- ・ **フロントエンド編集**：(モジュール)
- ・ **デフォルトのエディター**：(エディタ-TinyMCE) エディターの選択。
- ・ **デフォルトのCAPTCHA**： 利用するキャプチャの選択。
- ・ **デフォルトのアクセスレベル**：(Public) 新しいコンテンツ、メニュー等に設定できる。
- ・ **管理画面内の一覧リスト数**：(20) リスト表示時のページ当たりアイテムの最大数。
- ・ **フィードに出力するアイテム数**：(10) RSS ニュースフィード等に表示されるコンテンツの数。
(少ないほうが良い場合が多い)
- ・ **フィードに出力するEメール**：(出力しない) デフォルトは「いいえ」。「Atoms」や「RSS ニュースフィード」で表示時の作成者のメールの設定 (これはコンテンツの作成者)。
サイトのメールアドレスとは異なる。(スパム対策としては「サイトのメルアドが推奨」)
- ・ **FLoC をブロック**：(はい)

2-2) メタデータ

- ・ **サイトの説明文 (meta-description)** : サイトのユーザには表示されませんが、検索エンジンに参照され使われます。キーワードを含める。SEO 向上には空白は避ける。
- ・ **クローラへの指示** : 検索ロボットのクロール (巡回) とフォローを受け付けるかの可否設定。サイトの開発時や停止時は「いいえ」に組み合わせを指定できる。
- ・ **コンテンツの権利** : 著作権表示が必要なときページのヘッダーに表示されます。
- ・ **作成者メタタグ** : デフォルトは「はい」で、「作成者」のデータがページヘッダーに表示される。
- ・ **Joomla のバージョン** : Generaor メタタグに表示される。デフォルトは「いいえ」(推奨)。

2-3) SEO

- ・ **フレンドリーURL** : ウェブサイトのページの URL を構成。検索の順位付けに効果があり、URL が短縮化されるので人にも見やすい。
運用以後の修正は SEO に大きな影響が出るので避ける。 リンク切れ等のエラーがでる可能性。
- ・ **URL リライトの利用** : サーバの「mod-rewrite 関数」を利用し、URL から「index.php」部を削除します。上記の URL フレンドリーと組み合わせると効果がある。
ただし、機能するにはシステムの「.htaccess」を修正し指示をする必要あり。
下記注 参照。
- ・ **URL の末尾にサフィックス (.html) を追加** : デフォルトは「いいえ」。「はい」にすると、サイトの URL の末尾に「.html」が付く。(好み)
- ・ **Unicode エリアス** : エイリアスの文字変換を選択します。デフォルトは「いいえ」(Unicode)。「はい」にすると年号 (yy-mm-dd) となり、「いいえ」の場合は、ラテン語 (英数小文字) に変換されます
- ・ **ページタイトルのサイト名** : ブラウザーのウィンドウの上部バーやブラウザータブに表示されるページタイトルの前後にサイト名を挿入する。デフォルトは「いいえ」。

注) 設定の詳細は、本サイト> Joomla の運用> SEO を参照ください。

注) .htaccess ファイルの修正 (URL リライト機能の有効化)。 FTP を利用する。

原文

```
##  
# RewriteBase /  
## Begin - Joomla! core SEF Section.
```

修正 : 先頭の「#」を消去し、あなたのサイトのディレクトリを記述する。

```
##  
RewriteBase /xxxxxx(your site directry)  
## Begin - Joomla! core SEF Section.
```

2-4) クッキー

クッキー

| | |
|----------|---|
| クッキードメイン | <input type="text"/> <small>Cookieをすべてのサブドメインに対して有効にする必要がある場合、ドメインの前に「.」を付けます。</small> |
| クッキーパス | <input type="text"/> |

ほとんどの場合、空白で可。

- ・ **Cookie ドメイン** : セッションクッキー設定のためのドメイン
- ・ **Cookie パス** : 特定のサブディレクトリへのクッキーを有効にするためのパス。

3. 「システム」タブ

3-1) デバッグ

デバッグ

| | |
|-----------|------------------------------|
| システムのデバッグ | <input type="checkbox"/> いいえ |
| 言語のデバッグ | <input type="checkbox"/> いいえ |

- ・ **システムのデバッグ** : デフォルトは「いいえ」。ページの下の領域にデバッグ情報を追加する。
- ・ **言語のデバッグ** : デフォルトは「いいえ」。言語翻訳のデバッグ情報を追加する。

3-2) キャッシュ

キャッシュ

| | |
|-----------|-------------|
| システムキャッシュ | オフ・キャッシュが無効 |
|-----------|-------------|

- ・ **システムキャッシュ** : デフォルトは「無効」。ほかに「コンサバティブ」、「プログレッシブ」モードの選択が可能。 (別紙参照)

サイトの開発時はキャッシュを「無効」にする。

3-3) セッション

セッション

セッションハンドラ

セッション有効期間(分)

セッションの共有 いいえ
有効にすると、ユーザーのセッションはサイトのフロントエンドと管理画面で共有されます。この値を変更すると、サイト上の既存のセッションはすべて無効になります。*HTTPS接続の強制* オプションが*管理画面のみ*になっているときは利用できません。

セッションメタデータの追跡 はい
有効にすると、ユーザーのセッションに関する追加のメタデータ（ユーザー名、ユーザーID、ログインしているアプリケーションなど）がセッションデータベーステーブルに記録されます。無効にすると、このデータに依存する機能は使用できなくなります。

- ・ **セッションハンドラ** : セッションのページから次のページ要求の間のセッション情報を保持する機構の選択。デフォルトは「データベース」。
- ・ **セッション有効期間 (分)** : サイトが非アクティブ時の自動ログオフ時間の設定。
開発時は長くすると役立つ。
- ・ **セッションの共有** : 「はい」にすると、ユーザセッションはフロントエンドと管理画面で共有する。
デフォルトは「いいえ」。
- ・ **セッションメタデータの追跡** : デフォルトは「はい」

4. 「サーバ」タブ

4-1) サーバ

サーバ

Tempフォルダのパス

Gzipページ圧縮 いいえ

エラーの出力

HTTPS接続の強制

このオプションを利用するには、サーバーまたはロードバランサーでHTTPSを有効にする必要があります。SSLがロードバランサーで終了しているが、サイトがWebサーバーのhttpで提供されている場合は、「ロードバランサー配下」を有効にします。

- ・ **Temp フォルダのパス** : これは Joomla のインストール時に設定され、Joomla とエクステンションが一時保存に使うサーバ上のフォルダへのパスです。
- ・ **GZIP ページの圧縮** : デフォルトは「いいえ」。サイトから送信されるコンテンツを圧縮するので、低速回線の利用者の読み込み時間が短縮できる。

- ・ **エラーの出力** : サイトの PHP エラーの報告レベルの設定。 「システムデフォルト」、「なし」、「シ
ンプル」、「最大」の4つのレベルから選択します。通常運用中は「なし」
- ・ **HTTPS 接続の強制** : ここは「なし」、「管理画面のみ」と「サイト全体」の3つの選択肢から選び
ます。「なし」以外の設定は、サーバが HTTPS モードで動作することの確認が
設定以前に必要です。

4-2) ロケーション

ロケーション

サイトのタイムゾーン ▼

- ・ **サイトのタイムゾーン** : ウェブサイト全体で使用するタイムゾーンを設定します。
デフォルトはロンドン、UTC00:00 です。

4-3) ウェブサービス

ウェブサービス

CORSを有効にする いいえ
クロスオリジンリソースシェアリング (CORS) を使用すると、ブラウザで実行されているス
クリプトが異なるオリジンのリソースと対話できます。

- ・ **CORS を有効にする** : デフォルトは「いいえ」です。

4-4) プロキシ

プロキシ

ロードバランサー配下 いいえ
サイトがロードバランサーまたはリバースプロキシ配下でホストされている場合、この設定を有
効にすれば、Joomla内のIPアドレスおよびその他の設定を自動的に判別します。

アウトバウンドプロキシを有効 いいえ

- ・ **ロードバランサー配下** : デフォルトは「いいえ」です。
- ・ **アウトバウンドプロキシを有効** :

4-5) データベース

データベース

| | |
|--------------|---|
| データベースの種類 | <input type="text" value="MySQL (PDO)"/> |
| ホスト* | <input type="text" value="localhost"/> |
| データベースユーザー名* | <input type="text" value="root"/> |
| データベースパスワード | <input type="password" value="password"/> 変更 |
| | <small>どうしても必要な場合（データベースを新しいホスティングプロバイダーに転送した後など）を除いて、このフィールドは編集しないでください。</small> |
| データベース名* | <input type="text" value="joomla"/> |
| DBプレフィックス | <input type="text" value="joomla_"/> |
| 接続の暗号化 | デフォルト（サーバ制御） |

- ・ **データベースの種類**：データベースのタイプとインターフェースのタイプです。
「MySQL (PDO)」と「MySQLi」を選択可。
- ・ **ホスト**：使用するデータベースのホスト名。データベースサーバがウェブサーバと同じシステムにあると「localhost」の設定になります。
- ・ **データベースのユーザ名**：データベースにアクセスするためのユーザ名。
- ・ **データベースパスワード**：同 パスワード
- ・ **データベース名**：データベース名。
- ・ **DBプレフィックス**：Joomlaのインストール時に使用されるプレフィックス。
- ・ **接続認証方式**：アクセス時の暗号方式で、「デフォルト（サーバ制御）」、「1方向認証」、「双方向認証」が選択できます。

4-6) メール

メール

| | |
|------------|---|
| メールの送信 | <input checked="" type="checkbox"/> はい |
| 一斉送信を無効 | <input type="checkbox"/> いいえ |
| 差出人メールアドレス | <input type="text" value="ooya@sfs-net.com"/> |
| 差出人名 | <input type="text" value="Joomla-4 テストサイト"/> |
| 返信先Eメール | <input type="text"/> |
| 返信先の名前 | <input type="text"/> |
| メーラー | PHPMailer |

テストメールの送信

- ・ **メールの送信** : デフォルトは「はい」です。「いいえ」にするときは、サイトをオフラインにすることが推奨です。
- ・ **一斉通信を無効** : デフォルトは「いいえ」です。ユーザへの「一斉通信機能」を使うときは「はい」にします。
- ・ **差出人メールアドレス** : サイトからのメール時の差出人のメールアドレスです。
- ・ **差出人名** : その時の差出人の名前です。
- ・ **返信先 E メール** : そのメールのユーザからの返信用メールアドレスです。
- ・ **返信先の名前** : メールヘッダーに表示されるテキスト
- ・ **メーラ** : メール送信に利用する方式です。「PHP メーラ」、「Sendmail」これは通常「usr/sbin/sendmail」および「SMTP」です。SMTP 方式は更に必要な設定があります。

| | |
|------------|------------------------------|
| メーラ | SMTP |
| SMTPホスト | localhost |
| SMTPポート | 25 |
| SMTPセキュリティ | なし |
| SMTP認証 | <input type="checkbox"/> いいえ |

※**テストメールの送信** : テストボタン

5. 「ロギング」タブ

5-1) ロギング

| | |
|---------------|---|
| ロギング | |
| ログフォルダへのパス* | /home/wghp/www/wghp16/joomla4/administrator/logs |
| ほとんどすべてをログに記録 | <input type="checkbox"/> いいえ 非推奨のAPIを除くすべてをログに記録します。 |
| 非推奨のAPIをログに記録 | <input type="checkbox"/> いいえ |

- ・ **ログフォルダへのパス** :
- ・ **ほとんどすべてをログに記録** :
- ・ **非推奨の API をログに記録**

5-2) カスタムロギング

| | |
|------------|---|
| カスタムロギング | |
| ログの優先度 | すべて オプションを入 |
| ログカテゴリー | <input type="text"/> <small>含めるまたは除外するログカテゴリーのカンマ区切りのリスト。一般的なログカテゴリーには、データベース、データベースエラー、データベースエラー、非推奨、Jerrorが含まれますが、これらに限定されません。空の場合、カスタムロギングは無効になります。</small> |
| ログカテゴリーモード | <input type="checkbox"/> 含む |

- ・ログの優先度 :
- ・ログカテゴリー :
- ・ログカテゴリモード :

6. 「テキストフィルタ」タブ

6-1) テキストフィルタ

テキストフィルタに関するメモを展開

▼ テキストフィルタに関するメモを展開

これらのテキストフィルタ設定は、選択したグループのすべてのテキストエディターフィールドに適用されます。これらのフィルタリングオプションにより、コンテンツプロバイダーが送信するHTMLをより細かく制御できます。サイトのニーズに合わせて必要な限り厳格にしたり、緩和したりすることができます。フィルタリングはオプトインであり、デフォルト設定は、Webサイト攻撃に一般的に関連するマークアップに対する優れた保護を提供します。

フィルタタイプ

▼ フィルタタイプ¹

1. 禁止リストでは、リストされているものを除くすべてのタグと属性を使用できます。
-- デフォルトの禁止リストのタグは次のとおりです。'applet', 'body', 'bgsound', 'base', 'basefont', 'canvas', 'embed', 'frame', 'frameset', 'head', 'html', 'id', 'iframe', 'ilayer', 'layer', 'link', 'meta', 'name', 'object', 'script', 'style', 'title', 'xml'
-- デフォルトの禁止リストの属性は次のとおりです。'action', 'background', 'codebase', 'dynsrc', 'lowsrc', 'formaction'
-- タグと属性のフィルタ欄に追加することで、追加のタグと属性を禁止できます。各タグまたは属性名はコンマで区切ります。
-- カスタム禁止リストを使用すると、デフォルトの禁止リストを上書きできます。タグと属性のフィルタ欄に禁止するタグと属性を追加します。

許可リストはタグと属性のフィルタ欄に記載のタグのみを許可します。

HTMLなしは、保存時にコンテンツからすべてのHTMLタグを削除します。

これらの設定は、使用しているエディターに関係なく機能することに注意してください。
WYSIWYGエディターを使用している場合でも、フィルタ設定により、データベースに情報を保存する前に、追加のタグと属性が削除される場合があります。

フィルタタグ

▼ フィルタタグ²

2. 追加のタグをリストし、各タグ名をスペースまたはコンマで区切ります。例 : `p,div,span`。

フィルタ属性

▼ フィルタ属性³

3. 追加の属性をリストし、各属性名をスペースまたはコンマで区切ります。例 : `class,title,id`。

デフォルトのフィルタ設定

| フィルターグループ | フィルタータイプ ¹ | フィルタータグ ² | フィルタ属性 ³ |
|-------------------|-----------------------|----------------------|---------------------|
| Public | HTMLなし | | |
| - Guest | HTMLなし | | |
| - Manager | デフォルト禁止リスト | | |
| ⋮ - Administrator | デフォルト禁止リスト | | |
| - Registered | HTMLなし | | |
| ⋮ - Author | デフォルト禁止リスト | | |
| ⋮⋮ - Editor | デフォルト禁止リスト | | |
| ⋮⋮⋮ - Publisher | デフォルト禁止リスト | | |
| - Super Users | フィルタなし | | |

7. 「パーミッション」タブ

パーミッション

▶ 権限の設定に関する注意事項については、ノートを展開してください。

| Public | アクション | 新しい設定の選択 | 計算された設定 |
|-------------------|---------------|----------|-------------|
| - Guest | サイトログイン | 未設定 | 未許可 (デフォルト) |
| - Manager | 管理者ログイン | 未設定 | 未許可 (デフォルト) |
| ⋮ - Administrator | Webサービスログイン | 未設定 | 未許可 (デフォルト) |
| - Registered | オフラインアクセス | 未設定 | 未許可 (デフォルト) |
| ⋮ - Author | スーパーユーザー | 未設定 | 未許可 (デフォルト) |
| ⋮⋮ - Editor | オプション設定のみ | 未設定 | 未許可 (デフォルト) |
| ⋮⋮⋮ - Publisher | 管理画面にアクセス | 未設定 | 未許可 (デフォルト) |
| - Super Users | 作成 | 未設定 | 未許可 (デフォルト) |
| | 削除 | 未設定 | 未許可 (デフォルト) |
| | 編集 | 未設定 | 未許可 (デフォルト) |
| | 状態の編集 | 未設定 | 未許可 (デフォルト) |
| | 自分で編集 | 未設定 | 未許可 (デフォルト) |
| | カスタムフィールド値の編集 | 未設定 | 未許可 (デフォルト) |

(詳細 本サイト> Joomla の高度利用> アクセスコントロール参照)

参考) https://docs.joomla.org/J2.5:Global_configuration

以上